

対 象 学 年			
小学校			中学校
低学年	中学年	高学年	全学年

森のビンゴ・ウィンタービンゴ



プログラムの概要

身近な自然をテーマに「みる」「きく」「かぐ」「あじわう」「ふれる」の五感の全てをはたらかせて、数字のかわりに自然の中にある様々なものを見つけ、ビンゴを完成させていくゲームです。

ウィンタービンゴは、スノーシュー又はかんじきを履いて、雪の森の中を散策して行うビンゴゲームです。

ゲーム感覚で行えるため、子どもたちの意欲を高めることができ、同時にただ森の中を歩いただけでは気づくことのなかったものに目を向け、新たな発見も生まれる活動です。

所要時間：2時間程度

森のビンゴ・ウィンタービンゴ

1 活動のねらい

- ・ビンゴゲームという楽しい雰囲気の中で、五感を働かせて自然への感覚を集中させ、自然からの発見や感動を得ます。
- ・グループで協力し合って活動することにより、発見や感動を共有し合う。

2 活動のフィールド

- ・夏場は、自然の家周辺であればどこでも可。
- ・冬場は坪岳コース、藤巻山コース、ボウボ岩コース等、スノーシューハイクができる場所。
- ・グループで行う場合は、1グループ3～4名

3 準備品

団体・個人で用意するもの：鉛筆、ビニール袋、救急薬品

自然の家で用意するもの：ビンゴではワークシート(P4参照)、ルーペ

ウィンタービンゴではかんじき又はスノーシュー、マップケース

4 活動の手順

(1) 事前学習（自然の家に来る前の学習）

- ・特に必要なし

(2) 少年自然の家での活動

①ワークシートを配り、活動の手順について説明します。

- ・森の中に入って、ワークシートに書いてあるものを見つけてください。ワークシートの各マスには見つけるものとマークが書いてあります（マークの意味も説明してください）。
- ・縦、横、ななめが揃うとビンゴです。たくさん発見してたくさんビンゴを作ってください。
- ・個人行動をとらずに、グループで一緒に見つけてください。誰か一人が見つけたら、必ずグループの友だちに教えたり、話し合ったりしてください。

②活動の範囲や集合場所、制限時間、安全上の注意について説明します。

【春～秋の場合】

- ・走らずに探すこと。
- ・ヤマウルシは触っては行けないこと（実物を見せて確認しましょう）。
- ・スズメバチを見つけた場合はじっとして動かないようにすること。
- ・クマと遭遇する危険があるので、個人行動は絶対にとらないこと。

【冬の場合（ウィンタービンゴ）】

- ・はぐれてしまう可能性があるため、個人行動は絶対にとらないこと。
- ・雪が急にへこんでいる所は川や池が隠れている可能性があるため、気をつけること。
- ・屋根の雪が落ちてきそうな所には近寄らないこと。
- ・木の幹の近くは穴があいているので近寄らないこと。



ヤマウルシ



③グループごとに探しに出かけます。



④時間になって参加者が集まったら、グループごとに以下のような発表を行います。

・    の欄の発表を行います。

- ・ 持ってきたもの（  ）は、課題ごとに並べながら発表するようにすると、自分たちの見つけたものと友だちの見つけたものが比較でき、新たな発見が生まれて良いでしょう。
- ・ 同様に、  の欄で、特に印象に残ったもの、それがどんなふうに見えたか、などを発表し合います。
- ・ 発表では気づいたことや不思議に思ったことを交えながら話すようにさせると良いでしょう。

ふりかえりの活動

（次のような言葉掛けをして活動をふりかえると良いでしょう。）

- ・ 他のグループの発表を聞いて驚いたことや、新しく発見したことはありますか。
- ・ この活動を行ってみて、気づいたことや初めて知ったことはありますか。
- ・ この活動を行ってみて、どんなことを感じましたか。
- ・ 同じグループの友だちのことで、新しく発見した良い所や頑張っていたことなど、みんなに教えてあげたいことはありますか。



（3）事後学習（学校に帰ってから学習する内容）

- ・ 特になし

5 活動上の留意点

- （1）子どもたちの発見に対して、共感するような声掛けを行ったりささいな発見でも褒めたりするようにしましょう。また子どもと一緒に驚いたり、楽しんだりすることも大切です。
- （2）動植物の名前について質問が出たら、「何だろうね。」「後で調べてみようか。」というように、子ども達の知的好奇心を次につなげるような声掛けをすると良いでしょう。
- （3）このピンゴに正解はありません。子どもの見つけたもの、感じたことが全て正解です。さらに課題を追求したい場合は、資料を貸し出しますので、事務室に連絡してください。

6 参考文献

- （財）日本教育科学研究所：2000「森のピンゴ」IORE SHEET（野外教育活動事例集）
国立妙高少年自然の家：1996 雪上活動テキスト「雪を遊ぶ」
国立妙高少年自然の家：2004「冬の活動ハンドブック」

森のビンゴ

森の中には、おもしろいものや不思議なものがいっぱい。みんなはいくつ見つけれられるかな？

グループ

- ➡ 見つけたら○をする。
 ➡ 持ってくる。(持ってこられたら○をする。)
 ➡ 聞こえた音を言葉で書く。
 ➡ 絵や言葉で書く。

しろ はな 白い花	キノコ	むし 虫	ギザギザの葉	クモの巣
あか み 赤い実	お 折れている木	コケ	トゲのある木	木についている「あわ」の中はどうなっている？
かわ き 皮がはがれる木	もり なか いちばんめだ 森の中で一番目立った色	「おもしろい」と思うもの	どうぶつ 動物の「ふん」	とり こえ 鳥の声
みづ おと 水の音	ツルツルの葉	むし た 虫が食べたあとのある葉	け むし 毛虫	じぶん て おおき 自分の手よりも大きい葉
とがっている細い葉	ドングリ	かぜ おと 風の音	いい臭いの葉	木に巻きついてる「つる」

ウィンタービンゴ

冬の森には何もないと思いますか？よ～く見ると、面白いものや不思議なものにいっぱい出会えるかもよ。みんなはいくつ見つけれられるかな。

グループ

- ➡ 見つけたら○をする。
 ➡ 持ってくる。(持ってこられたら○をする。)
 ➡ 聞こえた音を言葉で書く。
 ➡ 絵や言葉で書く。

あか み 赤い実	かぜ おと 風の音	け め 毛につつまれた芽	どうぶつ あし 動物の足あと	木にくっついたままの枯れ葉
えだ 枝についているおもしろいマーク	どうぶつ き えだ 動物が木の枝をかじったあと	はやし なか ゆき いちばんすく 林の中で雪が一番少ない所	みどりいろ は 緑色の葉	もり なか いちばんめだ 森の中で一番目立ったもの
(絵)				
こんちゅう 昆虫のサナギ(マユ)	ゆき けっしょう 雪の結晶	「こぶ」がたくさん付いた枝	とり な こえ 鳥の鳴き声	ゆき うえ ある 雪の上を歩く昆虫
とげのある枝	かぜ と 風で飛ぶたね	どうぶつ うご 動物が動いているところ	とり す 鳥の巣	ゆき うえ ある とき 雪の上を歩く時の音
「うろこ」でおおわれた芽	おおきな「つらら」	どうぶつ 動物のふん	マツボックリ	どうぶつ 動物がおしっこをしたあと

ねらい別活動プログラム集「森のビンゴ・ウィンタービンゴ」

発行日：平成18年2月28日

発行：独立行政法人国立少年自然の家 国立妙高少年自然の家

所在地：〒949-2235 新潟県妙高市大字関山6323-2

編集：濁川明男（上越教育大学教授）

執筆：百目鬼弘通（国立妙高少年自然の家専門職員）